



# ふたば花見が丘だより 6月号(2026)



じめじめと蒸し暑かったり、雨が降って気温が下がったり、体調管理が難しい季節です。少しずつ暑さに慣れ、夏本番に備えていきましょう。水分補給などの熱中症対策も十分に、過ごしていきたいと思います。

園庭に野菜を植えました。キュウリ、ゴーヤは、砂場のフェンスをつるがに這うように植えています。早くグリーンカーテンとなって、日差しを和らげてくれたらいいなと思っています。他の野菜たちも、実がなればみんなで収穫して食べたいと思っています。野菜嫌いの子どもが、自分で収穫することで食べてくれることもあります。たくさんの思いと一緒に、大きく育てて欲しいものです。

## 熱中症



熱中症は、防ぐことができる病気です。こまめに休みをとる、水分補給をするなど、熱中症を起こさないように、普段から気をつけましょう。

熱中症の原因の1つが、脱水です。脱水のサインは顔の赤みやのどの渇きの他ひどくなると、おしっこの量や回数が少ない、色が濃くなります。その他、顔色が青い、表情に元気がないなどのちょっとしたサインも見逃さないようにしましょう。

自分で伝えることができない子どもたちなので、まわりの大人たちがサインを見逃さず、守ってあげましょう。保育園では、時間を決めて水分補給するようにしています。



## トイレトレーニング



はじめは、まずトイレに誘ってみます。誘っても嫌がる時は、無理に連れて行きません。登園後、食後、午睡の前後など、生活の節目でトイレに誘います。便器に座ることが第一歩。最初は、オムツのまま座っても、出なくても、OK。座れたことを褒めて、次につながるようにします。繰り返しのなかで、偶然おしっこが出た時は、たくさん褒めてあげます。

布パンツにして、間に合わなくて漏らした時は、叱らずに、「おしっこ出たね～」と受け止めます。漏らさないように、声を掛けすぎたり、無理やりトイレに座らせたりすると、膀胱に尿がたまる前にトイレに行くことになり、尿意を自覚できずに、自分からおしっこに行く体験にはつながらないことになります。間に合わなくて漏らしたり、間に合ってトイレでできたり、一進一退の経験を重ねる中で、尿意がわかるようになっていきます。

出る前に、「おしっこ」と子どもが予告できるようになったら、トレーニング完了ですが、完了しても天候の影響や、環境の変化などで後戻りすることもあります。焦らず、ゆっくり見守っていきましょう。

♪ あまだれぽったん

1. あまだれぽったん ぽったんたん  
つぎつぎならんで ぽったんたん  
ぽったん ころころどこへいく

♪ 2. あまだれぽったん ぽったんたん  
つぎつぎならんで ぽったんたん  
お太鼓たたいて どこへいく

## 6月の行事予定

- 13日(土) 保護者会総会
- 18日(木) 歯科検診
- 20日(土) 保育参観(たんぽぽ)  
懇談会(つぼみ・すみれ)

